

3 取得できる免許及び資格

1. 取得できる免許及び資格

「育英大学履修規則(102ページ)」に基づき、必要な単位を満たすことで、教育学部教育学科の各専攻では、以下の免許及び資格を取得することができます。

専攻	コース	取得できる免許及び資格	参考頁
児童教育専攻	幼児教育コース	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格 認定心理士	13～15ページ 25～27ページ 27～28ページ
	学校教育コース	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 認定心理士	13～15ページ 13、16～18ページ 27～28ページ
スポーツ教育専攻	—	中学校教諭一種免許状(保健体育) 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 認定心理士	13、19～21ページ 13、22～24ページ 27～28ページ

《参考》

(1) 各種教員免許状

教員免許制度による相当免許主義の関係から、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員は、原則として、学校の種類ごとの教員免許状が必要です。(中学校又は高等学校の教員は学校の種類及び教科ごとの教員免許状が必要です。)

教員免許状は、各都道府県に申請し、都道府県教育委員会から授与されます。授与を受けるためには、①所要資格(学位と教職課程等での単位修得、又は教員資格認定試験(幼稚園、小学校、特別支援学校自立活動のみ実施)の合格)を得るか、②都道府県教育委員会が行う教育職員検定(人物・学力・実務・身体面)を経る必要があります。具体的な授与基準等の細則は、都道府県ごとに定められています。

(2) 保育士資格

保育士とは、保育士登録を受け保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者をいいます。

保育士になるためには、①厚生労働大臣の指定する保育士を養成する学校その他の施設(指定保育士養成施設)を卒業するか、②保育士試験に合格する必要があります。

(3) 認定心理士

日本心理学会認定心理士とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得していると日本心理学会が認定した人のことです。

2. 教育職員免許について（全体）

（1）教育職員免許法における各種免許状の必要修得単位数について

教育職員免許法における各種教育職員免許状の取得に必要な修得単位数は、次のとおりです。卒業までに取得希望の免許状に応じた所定の科目及び単位を修得しなければなりません。

免許状の種類	教育の基礎的理解に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
幼稚園教諭一種免許状	21単位	16単位	14単位

免許状の種類	教育の基礎的理解に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
小学校教諭一種免許状	27単位	30単位	2単位

免許状の種類	教育の基礎的理解に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状（保健体育）	27単位	28単位	4単位
高等学校教諭一種免許状（保健体育）	23単位	24単位	12単位以上

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」の各必要修得単位数を超えて履修した科目は、「大学が独自に設定する科目」に含むことができます。

また、中学校教諭一種免許状（保健体育）と高等学校教諭一種免許状（保健体育）の両方に共通する科目の修得単位数は、それぞれの免許に必要な単位に換算できます。

（2）基礎条件について

① 学士の学位を有すること

教育課程表の卒業要件（児童教育専攻（6ページ）、スポーツ教育専攻（9ページ））を満たす必要があります。

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目区分（下図）から、それぞれ2単位（計8単位）修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める科目区分	必要単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	社会と憲法	2	
体育	2	健康と運動	2	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ（基礎）	1	
		英語Ⅱ（応用）	1	
		英語Ⅲ（実践）		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理法	1	
		情報活用法	1	
合計	8	本学合計	8	1

(3) 上記(1)を確認し、(2)の条件を満たした上で、各種免許状に必要な科目を履修します。

- ・ 幼稚園教諭一種免許状取得希望者 ⇒ 13・14～15ページ
- ・ 小学校教諭一種免許状取得希望者 ⇒ 13・16～18ページ
- ・ 中学校教諭一種免許状(保健体育)取得希望者 ⇒ 13・19～21ページ
- ・ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得希望者 ⇒ 13・22～24ページ

2-I. 幼稚園教諭一種免許状について

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論(幼・小)	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		2		
	保育内容総論		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論(幼・小)	2	
	幼児理解の理論及び方法		2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2		
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼児教育実習事前事後指導	1	
			幼児教育実習	4	
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼)	2	
合計		21	本学合計	27	

必要単位数21単位に対し、本学では27単位を必修科目に定めています。

余剰分の6単位は、15ページの(4)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(2) 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
領域及 び保育 内容の 指導法 に関する 科目	領域に関 する専門 的事項	※1	健康	1	
			人間関係	1	
			環境	1	
			言葉	1	
			表現	1	
			表現	1	
(2)と(3)を併せた合計		16	本学合計	6	

(3) 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
領域及 び保育 内容の 指導法 に関する 科目	保育内容の指導法（情報機器 及び機材の活用を含む。）	※2	保育内容（健康）の指導法	2	
			保育内容（人間関係）の指導法	2	
			保育内容（環境）の指導法	2	
			保育内容（言葉）の指導法	2	
			保育内容（表現A）の指導法	2	
			保育内容（表現B）の指導法	2	
(2)と(3)を併せた合計		16	本学合計	12	

必要単位数※1と※2を併せて16単位に対し、本学では(2)を6単位、(3)を12単位の必修科目に定めています。

余剰分の2単位は、以下の(4)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(4) 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
大学が独自に設定する科目		14	子どもの心理学		2
			子どもの理解と援助		1
			子ども家庭支援論		1
			音楽表現演習Ⅰ	1	
			音楽表現演習Ⅱ	1	
			音楽表現演習Ⅲ		1
			造形表現演習Ⅰ	1	
			造形表現演習Ⅱ		1
			授業観察演習		1
			授業実践演習		1
幼児教職体験実習		1			
合計		14	本学合計	3	9

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する項目」「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の各必要修得単位数を超えて履修した科目（「教育の基礎的理解に関する科目」6単位と「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の2単位）は、「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に含むことができます。

2-Ⅱ. 小学校教諭一種免許状について

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論（幼・小）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論（幼・小）	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学（幼・小・中・高）	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（幼・小・中・高）	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論（幼・小・中・高）	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（幼・小）	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の指導法（小・中）	2	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習(探究)の時間の指導法（小・中・高）	2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法（小・中・高）	2	
	教育の方法及び技術		教育方法論（幼・小）	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法(小)	1	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法（小・中・高）	2	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（幼・小・中・高）	2			
教育実践に関する科目	教育実習	5	初等教育実習事前事後指導	1	
			初等教育実習	2	
			初等中等教育実習（小・中）	2	
	教職実践演習	2	2		
合計		27	本学合計	32	

必要単位数27単位に対し、本学では32単位を必修科目に定めています。

余剰分の5単位は、18ページの(4)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(注) その他、単位に含まれませんが、「小学校教諭一種免許状」取得希望者は「介護等体験(特別支援学校及び社会福祉施設等の7日間の実習)」が必要になります。詳細は、別途説明します。

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教科及 び教科 の指導 法に関 する科 目	教科に関 する専門 的事項	※ 3	国語 (書写を含む。)		2
			社会		2
			算数		2
			理科		2
			生活		2
			音楽		2
			図画工作		2
			家庭		2
			体育		2
			外国語		2
(2) と (3) を併せた合計		30	本学合計		20

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教科及 び教科 の指導 法に関 する科 目	各教科の 指導法 (情報機 器及び機 材の活用 を含む。)	※ 4	初等教科教育法 (国語)	2	
			初等教科教育法 (社会)	2	
			初等教科教育法 (算数)	2	
			初等教科教育法 (理科)	2	
			初等教科教育法 (生活)	2	
			初等教科教育法 (音楽)	2	
			初等教科教育法 (図画工作)	2	
			初等教科教育法 (家庭)	2	
			初等中等教科教育法 (体育・保健体育)	2	
			初等教科教育法 (外国語)	2	
(2) と (3) を併せた合計		30	本学合計	20	

必要単位数※ 3 と※ 4 を併せた合計30単位に対し、本学では (2) を選択必修10単位、(3) を20単位の必修科目に定めています。

余剰分の単位は、18ページの(4)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(4) 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分	必要 単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に設定する科目	2	学校心理学		2
		授業観察演習		1
		授業実践演習		1
		初等教職体験実習		1
合計	2	本学合計		5

「教育の基礎的理解に関する科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」の各必要修得単位数を超えて履修した科目（「教育の基礎的理解に関する科目」の5単位と「教科及び教科の指導法に関する科目」の余剰分の単位）は、「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に含むことができます。

2-Ⅲ. 中学校教諭一種免許状（保健体育）について

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論（中・高）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論（中・高）	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学（幼・小・中・高）	2	
			学校・学級経営		2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（幼・小・中・高）	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論（幼・小・中・高）	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（中・高）	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の指導法（小・中）	2	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習（探究）の時間の指導法（小・中・高）	2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法（小・中・高）	2	
	教育の方法及び技術		教育方法論（中・高）	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法（中・高）	1	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法（小・中・高）	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（幼・小・中・高）	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	中等教育実習事前事後指導	1	
			初等中等教育実習（小・中）	2	
			中等教育実習（中・高）	2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	
合計		27	本学合計	32	2

必要単位数27単位に対し、本学では32単位を必修科目に定めています。

余剰分の必修科目5単位と選択科目2単位の中から履修した単位数は、21ページの(3)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(注) その他、単位に含まれませんが、「中学校教諭一種免許状（保健体育）」取得希望者は「介護等体験（特別支援学校及び社会福祉施設等の7日間の実習）」が必要になります。詳細は、別途説明します。

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分			必要 単位数	授業科目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	28	体育実技Ⅰ	1	
				体育実技Ⅱ	1	
				体育実技Ⅲ		1
				体育実技Ⅳ		1
				体育実技Ⅴ	1	
				体育実技Ⅵ	1	
				体育実技Ⅶ		1
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）		体育原理	2	
				体育心理学	2	
				体育経営管理学		2
				体育社会学	2	
				運動学・運動方法学	2	
				コーチング論		2
				トレーニング論		2
	生理学（運動生理学を含む。）	生理学・運動生理学		2		
		衛生学及び公衆衛生学		2		
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	衛生学・公衆衛生学		2		
		健康管理論			2	
		学校保健（小児保健・精神保健・学校安全及び救急処置を含む）		2		
	各教科の指導法（情報機器及び機材の活用を含む。）	健康教育論			2	
中等教科教育法Ⅰ（体育）		2				
初等中等教科教育法（体育・保健体育）		2				
中等教科教育法Ⅱ（体育）		2				
中等教科教育法Ⅲ（保健）		2				
		2				
合 計			28	本学合計	26	15

どちらか1
科目2単位
選択必修

必要単位数28単位に対し、本学では26単位を必修科目に定めており選択科目から最低2単位の履修が必要となります。

余剰に履修した単位数は、(3)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(3) 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分	必要 単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に設定する科目	4	体力測定・評価法		2
		運動部活動の指導法		2
		学校心理学		2
		授業観察演習		1
		授業実践演習		1
		中等教職体験実習		1
合計	4	本学合計		9

「教育の基礎的理解に関する科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」の各必要修得単位数を超えて履修した科目は、「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に含むことができます。

2-Ⅳ. 高等学校教諭一種免許状（保健体育）について

（1）教育の基礎的理解に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論（中・高）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論（中・高）	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学（幼・小・中・高）	2	
			学校・学級経営		2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（幼・小・中・高）	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論（幼・小・中・高）	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（中・高）	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の指導法（小・中・高）	2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法（小・中・高）	2	
	教育の方法及び技術		教育方法論（中・高）	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法（中・高）	1	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法（小・中・高）	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（幼・小・中・高）	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	中等教育実習事前事後指導	1	
			中等教育実習（中・高）	2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	
	合計	23	本学合計	28	2

必要単位数23単位に対し、本学では28単位を必修科目に定めています。

余剰分の必修単位5単位と選択科目2単位の中から履修した単位数は、24ページの(3)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		必要 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教科及 び教科 の指導 法に関 する科 目	教科に 関する 専門的 事項	24	体育実技Ⅰ	1	
			体育実技Ⅱ	1	
			体育実技Ⅲ		1
			体育実技Ⅳ		1
			体育実技Ⅴ	1	
			体育実技Ⅵ	1	
			体育実技Ⅶ		1
		体育原理	2		
		体育心理学	2		
		体育経営管理学		2	
		体育社会学	2		
		運動学・運動方法学	2		
		コーチング論		2	
		トレーニング論		2	
	バイオメカニクス		2		
	生理学（運 動生理学を 含む。）	2			
	衛生学及び 公衆衛生学	2			
	健康管理論		2		
	学校保健(小 児保健、精神保 健、学校安全及 び救急処置を含 む。)	2			
	健康教育論		2		
各教科の指導法（情 報機器及び教材の活 用を含む。）		中等教科教育法Ⅰ（体育）	2		
		中等教科教育法Ⅱ（体育）	2		
		中等教科教育法Ⅲ（保健）	2		
		中等教科教育法Ⅳ（保健）	2		
合計		24	本学合計	26	15

必要単位数24単位に対し、本学では26単位を必修科目に定めています。

余剰分の必修科目2単位と選択科目15単位の中から履修した単位数は、24ページの(3)大学が独自に設定する科目の必要単位数に含むことができます。

(3) 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分	必要 単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に設定する科目	12	体力測定・評価法		2
		運動部活動の指導法		2
		学校心理学		2
		授業観察演習		1
		授業実践演習		1
		中等教職体験実習		1
合計	12	本学合計		9

「教育の基礎的理解に関する科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」の各必要修得単位数を超えて履修した科目は、「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に含むことができます。

3. 保育士資格について

指定保育士養成施設の運営基準に基づき、指定保育士養成施設は、(1) 必修科目、(2) 選択必修科目 18 単位以上、(3) 教養科目 10 単位以上の 3 項目を開設し、それぞれから必要な単位数を修得する必要があります。

(1) 必修科目

以下の必修科目を全て履修する必要があります。

系列	教科目	告示 単位数	授業科目	単位数
保育の本質・ 目的に関する 科目	保育原理	2	保育原理	2
	教育原理	2	教育学概論 (幼・小)	2
	子ども家庭福祉	2	児童家庭福祉	2
	社会福祉	2	社会福祉	2
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	1
			家庭支援論	2
	社会的養護 I	2	社会的養護	2
保育者論	2	教職概論 (幼・小)	2	
保育の対象の 理解に関する 科目	保育の心理学	2	子どもの心理学	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2
	子どもの理解と援助	1	子どもの理解と援助	1
	子どもの保健	2	子どもの保健	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2
保育の内容・ 方法に関する 科目	保育の計画と評価	2	教育課程論 (幼・小)	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2
	保育内容演習	5	保育内容 (健康) の指導法	2
			保育内容 (人間関係) の指導法	2
			保育内容 (環境) の指導法	2
			保育内容 (言葉) の指導法	2
			保育内容 (表現 A) の指導法	2
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1
			幼児と人間関係	1
			幼児と環境	1
			幼児と言葉	1
	乳児保育 I	2	乳児保育 I	2
	乳児保育 II	1	乳児保育 II	1
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1
障害児保育	2	障害児保育	2	
社会的養護 II	1	社会的養護内容	1	
子育て支援	1	子育て支援	1	
保育実習	保育実習 I	4	保育実習 I (保育所)	2
			保育実習 I (施設)	2
	保育実習指導 I	2	保育実習指導 I (保育所)	1
			保育実習指導 I (施設)	1
保育実践演習	2	保育・教職実践実習 (幼)	2	
合計	51	本学合計	56	

(2) 選択必修科目

以下表から11単位以上を修得する必要があります。なお保育実習3単位以上(うち保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ2単位以上、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ1単位以上)を修得する必要があります。

系列	教科目	告示 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
保育の本質・目的に関する科目		15	人間形成論	2	
			対人関係論	2	
			道徳教育論	2	
保育の対象の理解に関する科目		15	幼児理解の理論と方法		2
			発達心理学		2
			問題解決法	1	
保育の内容・方法に関する科目		15	他社理解と信頼関係	1	
			教育方法論(幼・小)		2
			保育内容(表現B)の指導法		2
			音楽表現演習Ⅰ	1	
			音楽表現演習Ⅱ	1	
			音楽表現演習Ⅲ		1
			造形表現演習Ⅰ	1	
造形表現演習Ⅱ		1			
保育 実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
	保育実習Ⅲ		保育実習Ⅲ	2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
			保育実習指導Ⅲ	1	
合計		18	本学計	17	10

(3) 教養科目

以下表から10単位(うち外国語で2単位、体育講義1単位・体育実技1単位)以上を修得する必要があります。

系列	教科目	告示 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教養科目	外国語、体育以外の科目	6	情報処理法	1	
			情報活用法	1	
			統計分析法	1	
			創造思考法	1	
			日本語Ⅰ(読解、分析)	1	
			日本語Ⅱ(作文、論文)	1	
			日本語Ⅲ(発表、討論)	1	
			自己管理と社会規範	1	
			チームワークとリーダーシップ	1	
			地域活動と社会貢献	1	
			社会的・職業的自立Ⅰ	1	
			社会的・職業的自立Ⅱ	1	

系列	教科目		告示 単位数	授業科目	単位数	
					必修	選択
教養科目	外国語		2	英語Ⅰ（基礎）	1	
				英語Ⅱ（応用）	1	
				英語Ⅲ（実践）		1
	体育	講義	1	健康と運動	2	
		実技	1			
合計				本学計	16	1

4. 日本心理学会認定心理士資格について

日本心理学会認定心理士とは大学における心理学関係の学科名が学際性を帯びてきて、必ずしも「心理学」という、直接的名称が使われていない場合が多いことから、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した人のことです。

認定心理士資格の基礎条件として、①四年制大学を卒業し学士の学位を取得もしくは大学院修士課程を修了し修士の学位を取得、②16歳以降通算2年以上日本に滞在した経験を有していること、③認定心理士認定資格細則が指定する心理学関係の所定の単位を修得する必要があります。

③の認定心理士認定資格細則が指定する心理学関係の所定の単位は、下の（1）基礎科目、（2）選択科目、（3）その他の科目から必要な科目を履修し、合計36単位を修得する必要があります。なお、児童教育専攻とスポーツ教育専攻で一部履修科目が異なるので注意してください。

項目	専攻	(1)基礎科目	(2)選択科目	(3)その他	合計
認定心理士 認定資格細則	児童教育専攻	12単位以上	24単位以上	—	36単位以上の修得が必要
	スポーツ教育専攻		22単位以上	2単位以上	

（1）基礎科目（a, b, c 領域）

系列		必要 単位数	授業科目 (専攻共通)	単位数
a 心理学概論	心理学を構成する 主な領域に関し、 均衡のとれた基礎 知識を備えるため の科目	4単位 以上	心理学概論	2
			心理と行動	2
			行動科学概論	1※
b 心理学研究法	心理学における実 証的研究方法の基 礎知識を備えるた めの科目	8単位 以上	心理統計法	2
			心理検査法	2
c 心理学実験実習	心理学における実 験的研究の基礎を 修得するための、 心理学基礎実験、 実習の科目	(cから 4単位以 上修得)	心理学基礎実験	2
			心理学実験演習	2
基礎科目小計		12単位 以上	本学計	13

※ 副次主題の場合は、単位が半分（実際の単位と異なる）になります。

(2) 選択科目

d～hの5領域のうち、3領域以上で、それぞれが少なくとも4単位以上履修する必要がある、かつ領域合計16単位以上修得する必要があります。本学ではf、g、h系列に科目を絞り開設しています。児童教育専攻は、24単位以上、スポーツ教育専攻は選択科目22単位以上、その他の科目2単位を修得する必要があります。

系列	必要 単位数	児童教育専攻	単位数	スポーツ教育専攻	単位数
d 知覚心理学 学習心理学	16 単位 以上 (3 領域 以上で、 それぞれ が少なく とも4 単 位以上)	—	—	—	—
e 生理心理学 比較心理学		—	—	—	—
f 教育心理学 発達心理学		教育心理学(幼・小・中・高)	2	教育心理学(幼・小・中・高)	2
		発達心理学	2	発達心理学	2
		子どもの心理学	2	学校心理学	2
		子どもの理解と援助	1	発達臨床心理学	2
		学校心理学	2	—	—
		発達臨床心理学	2	—	—
g 臨床心理学 人格心理学		臨床心理学	2	臨床心理学	2
		心理療法概論	2	心理療法概論	2
		カウンセリング論	2	カウンセリング論	2
		教育相談の理論と方法 (幼・小・中・高)	2	教育相談の理論と方法 (幼・小・中・高)	2
h 社会心理学 産業心理学		社会心理学	2	社会心理学	2
		対人関係論	2	対人関係論	2
		コミュニケーション心理学	2	コミュニケーション心理学	2
選択科目小計		16 単位 以上	本学計	25	本学計

(3) その他

系列	必要 単位数	児童教育専攻	単位数	スポーツ教育専攻	単位数
i その他	必ずしも単 位は必要で はない。	—	—	体育心理学	2
その他科目 小計	—	本学計	—	本学計	2

4 履修モデル

児童教育専攻 幼児教育コース モデルA (幼稚園教諭一種免許状+保育士)

年次 カリキュラム	1年		2年		3年		4年		単位数
	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法	前 1			問題解決法	前 1		5
		情報活用法	後 1			創造思考法	後 1		
		統計分析法	後 1						
	表現力の養成	英語 I (基礎)	前 1						5
		日本語 I (読解、分析)	前 1						
		日本語 II (作文、論文)	前 1						
		英語 II (応用) 日本語 III (発表、討論)	後 1						
	人間力の養成	自己管理と社会規範	前 1	チームワークとリーダーシップ	前 1				4
		地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	前 1 後 1						
	社会力の養成	基礎ゼミ I	前 1	総合ゼミ I	前 1	キャリアプランニング	前 1	社会的・職業的自立 II	後 1
基礎ゼミ II		後 1	総合ゼミ II	後 1	社会的・職業的自立 I	後 1			
人間の理解	心理と行動 健康と運動	前 2 前 2					生命と倫理	後 2	6
社会の理解	社会と憲法 法律と人権	前 2 後 2					自然と環境	後 2	6
基礎 教育 科目	基幹科目	人間形成論	前 2						18
		心理学概論	前 2						
		教育学概論(幼・小)	前 2						
		対人関係論	後 2						
		道徳教育論	後 2						
		教育心理学(幼・小・中・高)	後 2						
		特別支援教育論(幼・小・中・高)	後 2						
		教育行政学(幼・小・中・高) 教職概論(幼・小)	後 2 後 2						
専門 教育 科目	展開科目	保育原理	後 2	幼児と健康	前 1	保育内容(環境)の指導法	前 2		58
		幼児と人間関係	前 1	保育内容(言葉)の指導法	前 2				
		幼児と環境	前 1	保育内容(表現A)の指導法	前 2				
		幼児と言葉	前 1	子どもの理解と援助	前 1				
		幼児と表現A	前 1	子ども家庭支援論	前 1				
		幼児と表現B	前 1	子育て支援	前 1				
		教育課程論(幼・小)	前 2	子どもの保健	前 2				
		保育内容総論	前 2	家庭支援論	前 2				
		子どもの心理学	前 2	乳児保育 I	前 2				
		教育方法論(幼・小)	後 2	教育相談の理論と方法(幼・小・中・高)	後 2				
		保育内容(健康)の指導法	後 2	保育内容(表現B)の指導法	後 2				
		保育内容(人間関係)の指導法	後 2	子どもの健康と安全	後 1				
		幼児理解の理論と方法	後 2	子どもの食と栄養	後 2				
		子どもの家庭支援の心理学	後 2	乳児保育 II	後 1				
		児童家庭福祉	後 2	障害児保育	後 2				
		社会福祉	後 2	社会的養護内容	後 1				
社会的養護	後 2								
言語表現	後 2								
発展科目	音楽表現演習 I 造形表現演習 I	前 1 後 1	音楽表現演習 II 造形表現演習 II	前 1 後 1	学校心理学 音楽表現演習 III	後 2 前 1		13	
			発達心理学	後 2	授業観察演習 授業実践演習	後 1 後 1			
			発達・発達論	前 2					
関連科目									
実習科目	幼児教職体験実習	前 1			保育実習指導 I (保育所)	後 1	幼児教育実習事前事後指導	前 1	17
					保育実習指導 I (施設)	後 1	幼児教育実習	前 4	
					保育実習 I (保育所)	後 2	保育実習指導 II 又は 保育実習指導 III	前 1	
					保育実習 I (施設)	後 2	保育実習 II 又は 保育実習 III	前 1	
							保育実習 II 又は 保育実習 III	前 2	
							保育・教職実践演習(幼)	後 2	
研究科目					教育学研究法 I	前 1	卒業研究 I	前 2	6
					教育学研究法 II	後 1	卒業研究 II	後 2	

児童教育専攻 幼児教育コース モデルB (幼稚園教諭一種免許状+保育士+認定心理士)

太字…必修科目

下線…専攻必修科目

……実習科目

年次 カリキュラム	1年		2年		3年		4年		単位数			
	科目名	時単位	科目名	時単位	科目名	時単位	科目名	時単位				
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法	前1			問題解決法	前1		5			
		情報活用法	後1			創造思考法	後1					
		統計分析法	後1									
	表現力の養成	英語Ⅰ(基礎)	前1						5			
		日本語Ⅰ(読解、分析)	前1									
		日本語Ⅱ(作文、論文)	前1									
英語Ⅱ(応用)		後1										
人間力の養成	自己管理と社会規範	前1	チームワークとリーダーシップ	前1				4				
	地域活動と社会貢献	前1										
社会力の養成	基礎ゼミⅠ	前1	総合ゼミⅠ	前1	キャリアプランニング	前1	社会的・職業的自立Ⅱ	後1	7			
	基礎ゼミⅡ	後1	総合ゼミⅡ	後1	社会的・職業的自立Ⅰ	後1						
人間の理解	心理と行動	前2					生命と倫理	後2	6			
社会の理解	健康と運動	前2										
	社会と憲法	前2					自然と環境	後2	6			
社会の理解	法律と人権	後2										
専 門 教 育 科 目	基 幹 科 目	人間形成論	前2						18			
		心理学概論	前2									
		教育学概論(幼・小)	前2									
		対人関係論	後2									
		道徳教育論	後2									
		教育心理学(幼・小・中・高)	後2									
		特別支援教育論(幼・小・中・高)	後2									
		教育行政学(幼・小・中・高)	後2									
		教職概論(幼・小)	後2									
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	保育原理	後2	幼児と健康	前1	保育内容(環境)の指導法	前2		58			
				幼児と人間関係	前1	保育内容(言葉)の指導法	前2					
				幼児と環境	前1	保育内容(表現A)の指導法	前2					
				幼児と言葉	前1	子どもの理解と援助	前1					
				幼児と表現A	前1	子ども家庭支援論	前1					
				幼児と表現B	前1	子育て支援	前1					
				教育課程論(幼・小)	前2	子どもの保健	前2					
				保育内容総論	前2	家庭支援論	前2					
				子どもの心理学	前2	乳児保育Ⅰ	前2					
				教育方法論(幼・小)	後2	教育相談の理論と方法(幼・小・中・高)	後2					
				保育内容(健康)の指導法	後2	保育内容(表現B)の指導法	後2					
				保育内容(人間関係)の指導法	後2	子どもの健康と安全	後1					
				幼児理解の理論と方法	後2	子どもの食と栄養	後2					
				子どもの家庭支援の心理学	後2	乳児保育Ⅱ	後1					
				児童家庭福祉	後2	障害児保育	後2					
				社会福祉	後2	社会的養護内容	後1					
				社会的養護	後2							
				言語表現	後2							
		発 展 科 目	音楽表現演習Ⅰ	前1	音楽表現演習Ⅱ	前1	学校心理学	後2		カウンセリング論	前2	29
			造形表現演習Ⅰ	後1	発達心理学	後2						
			発育・発達論	前2	発達臨床心理学	前2	心理検査法	後2				
			心理統計法	前2	心理療法概論	前2	心理学実験演習	後2				
関 連 科 目			心理学基礎実験	後2			社会心理学	後2	29			
			臨床心理学	後2			コミュニケーション心理学	後2				
実 習 科 目	幼児教職体験実習	前1			保育実習指導Ⅰ(保育所)	後1	幼児教育実習事前事後指導	前1	17			
					保育実習指導Ⅰ(施設)	後1	幼稚園教諭実習	前4				
					保育実習Ⅰ(保育所)	後2	保育実習指導Ⅱ又は	前1				
					保育実習Ⅰ(施設)	後2	保育実習指導Ⅲ	前1				
							保育実習Ⅱ又は	前2				
							保育実習Ⅲ	前2				
研 究 科 目					教育学研究法Ⅰ	前1	卒業研究Ⅰ	前2	6			
					教育学研究法Ⅱ	後1	卒業研究Ⅱ	後2				

児童教育専攻 学校教育コース モデルC (小学校教諭一種免許状)

年次 カリキュラム	1年		2年		3年		4年		単位数
	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	科目名	時 期 単 位	
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法	前1			問題解決法	前1		5
		情報活用法	後1			創造思考法	後1		
		統計分析法	後1						
	表現力の養成	英語Ⅰ(基礎)	前1						5
		日本語Ⅰ(読解、分析)	前1						
		日本語Ⅱ(作文、論文)	前1						
		英語Ⅱ(応用)	後1						
	人間の養成	自己管理と社会規範	前1	チームワークとリーダーシップ	前1				4
		地域活動と社会貢献	前1						
		他者理解と信頼関係	後1						
社会力の養成	基礎ゼミⅠ	前1	総合ゼミⅠ	前1	キャリアプランニング	前1	社会的・職業的自立Ⅱ	7	
	基礎ゼミⅡ	後1	総合ゼミⅡ	後1	社会的・職業的自立Ⅰ	後1			
人間の理解	心理と行動	前2	歴史と文化	後2				6	
社会の理解	健康と運動	前2						4	
	社会と憲法	前2							
	法律と人権	後2							
基幹 科目		人間形成論	前2					18	
		心理学概論	前2						
		教育学概論(幼・小)	前2						
		対人関係論	後2						
		道徳教育論	後2						
		教育心理学(幼・小・中・高)	後2						
		特別支援教育論(幼・小・中・高)	後2						
		教育行政学(幼・小・中・高)	後2						
		教職概論(幼・小)	後2						
専門 教育 科目	展開科目			国語	前2	初等教科教育法(国語)	前2		55
				算数	前2	初等教科教育法(算数)	前2		
				生活	前2	初等教科教育法(生活)	前2		
				音楽	前2	初等教科教育法(音楽)	前2		
				図画工作	前2	初等教科教育法(図画工作)	前2		
				体育	前2	初等中等教科教育法(体育・保健体育)	前2		
				小学校英語	前2	総合的な学習(探究)の時間の指導法(小・中・高)	前2		
				教育課程論(幼・小)	前2	生徒・進路指導の理論と方法(小・中・高)	前2		
				社会	後2	初等教科教育法(社会)	後2		
				理科	後2	初等教科教育法(理科)	後2		
				家庭	後2	初等教科教育法(家庭)	後2		
				道徳の指導法(小・中)	後2	初等教科教育法(外国語)	後2		
				教育方法論(幼・小)	後2	特別活動の指導法(小・中・高)	後2		
				情報通信技術を活用した 教育の理論及び方法(小)	後1	教育相談の理論と方法(幼・小・中・高)	後2		
		発展科目			発達心理学	後2	学校・学級経営	前2	
					学校心理学	後2			
関連科目		生涯スポーツⅠ	前1					10	
		生涯スポーツⅡ	後1						
実習科目		初等教職体験実習	前1				初等教育実習事前事後指導	前1	8
							初等教育実習	前2	
							初等中等教育実習(小・中)	前2	
							教職実践演習(小)	後2	
研究科目					教育学研究法Ⅰ	前1	卒業研究Ⅰ	前2	6
					教育学研究法Ⅱ	後1	卒業研究Ⅱ	後2	

スポーツ教育専攻 モデルF (中学校教諭一種免許状(保健体育)+高等学校教諭一種免許状(保健体育))

年次 カリキュラム	1年		2年		3年		4年		単位数	
	科目名	時 単 期 位	科目名	時 単 期 位	科目名	時 単 期 位	科目名	時 単 期 位		
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法 前 1			問題解決法 前 1				5	
		情報活用法 後 1			創造思考法 後 1					
	表現力の養成	英語 I (基礎) 前 1							5	
		日本語 I (読解、分析) 前 1								
		日本語 II (作文、論文) 前 1								
	人間力の養成	英語 II (応用) 後 1							4	
		日本語 III (発表、討論) 後 1								
社会力の養成	自己管理と社会規範 前 1	チームワークとリーダーシップ 前 1			キャリアプランニング 前 1	社会的・職業的自立 II 後 1		7		
人間の理解	基礎ゼミ I 前 1	総合ゼミ I 前 1			社会的・職業的自立 I 後 1		生命と倫理 後 2	4		
社会の理解	基礎ゼミ II 後 1	総合ゼミ II 後 1						4		
専門 教育 科目	人間形成論 心理学概論 教育学概論(中・高) 対人関係論 道徳教育論 教育心理学(幼・小・中・高) 特別支援教育論(幼・小・中・高) 教育行政学(幼・小・中・高) 教職概論(中・高)	健康と運動 前 2							18	
		社会と憲法 前 2	政治と行政 前 2							
		人間形成論 前 2								51
		心理学概論 前 2								
		教育学概論(中・高) 前 2								
		対人関係論 後 2								
		道徳教育論 後 2								
		教育心理学(幼・小・中・高) 後 2								
		特別支援教育論(幼・小・中・高) 後 2								
		教育行政学(幼・小・中・高) 後 2								
教職概論(中・高) 後 2										
教職概論(中・高) 後 2										
専門 教育 科目	展開科目	体育実技 I 後 1	体育実技 II 前 1	衛生学・公衆衛生学 前 2				97		
		体育実技 VI 後 1	体育実技 III 前 1	学校保健(小児保健・精神保健・ 学校安全及び救急処置を含む) 前 2						
		体育原理 後 2	体育心理学 前 2	中等教科教育法 I (体育) 前 2						
			体育社会学 前 2	中等教科教育法 III (保健) 前 2						
			生理学・運動生理学 前 2	総合的な学習(探究)の時間 前 2						
			教育課程論(中・高) 前 2	の指導法(小・中・高) 前 2						
			教育方法論(中・高) 前 2	情報通信技術を活用した 前 1						
			特別活動の指導法(小・中・高) 前 2	教育相談の理論と方法 前 2						
			教育の理論及び方法(中・高) 前 2	コーチング論(幼・小・中・高) 前 2						
			体育実技 IV 後 1	中等教科教育法 II (体育) 後 2						
			体育実技 V 後 1	中等教科教育法 IV (保健) 後 2						
			運動学・運動方法学 後 2	生徒・進路指導の理論と方法(小・中・高) 後 2						
			体育経営管理学 後 2	運動部活動の指導法 後 2						
			道徳の指導法(中) 後 2							
	体力測定・評価法 後 2									
発展科目				学校・学級経営 前 2	チーム学校論 後 2			14		
				学校心理学 後 2						
関連科目	生涯スポーツ I 前 1 生涯スポーツ II 後 1	健康づくりの理論と方法 後 2		授業観察演習 後 1				8		
		スポーツ指導法 後 2		授業実践演習 後 1						
実習科目	中等教職体験実習 前 1				中等教育実習事前事後指導 前 1			6		
					中等教育実習(中・高) 前 2					
研究科目					初等中等教育実習(小・中) 前 2			8		
					教職実践演習(中・高) 後 2					
研究科目				教育学研究法 I 前 1	卒業研究 I 前 2			6		
				教育学研究法 II 後 1	卒業研究 II 後 2					

スポーツ教育専攻 モデルH (免許なし、(健康運動指導士))

		太字…必修科目		下線…専攻必修科目		…実習科目				
年次	1年	2年	3年	4年	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	
カリキュラム	科目名	時期	科目名	時期	科目名	時期	科目名	時期	単位数	
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法	前		問題解決法	前			5	
		情報活用法	後		創造思考法	後				
	表現力の養成	統計分析法	後							5
		英語Ⅰ(基礎)	前							
		日本語Ⅰ(読解、分析)	前							
		日本語Ⅱ(作文、論文)	前							
人間力の養成	英語Ⅱ(応用)	後							4	
	日本語Ⅲ(発表、討論)	後								
社会力の養成	自己管理と社会規範	前	チームワークとリーダーシップ	前					7	
	地域活動と社会貢献	前			キャリアプランニング	前	社会的・職業的自立Ⅱ	後		
人間の理解	他者理解と信頼関係	後			社会的・職業的自立Ⅰ	後			4	
	基礎ゼミⅠ	前	総合ゼミⅠ	前			生命と倫理	後		
社会の理解	基礎ゼミⅡ	後	総合ゼミⅡ	後					4	
	健康と運動	前								
専 門 教 育 科 目	基 幹 科 目	社会と憲法	前	政治と行政	前				18	
		人間形成論	前							
		心理学概論	前							
		教育学概論(中・高)	前							
		対人関係論	後							
		道徳教育論	後							
		教育心理学(幼・小・中・高)	後							
		特別支援教育論(幼・小・中・高)	後							
		教育行政学(幼・小・中・高)	後							
		教職概論(中・高)	後							
展 開 科 目	体育実技Ⅰ	後	体育実技Ⅱ	前	衛生学・公衆衛生学	前			37	
	体育実技Ⅵ	後	体育実技Ⅲ	前	学校保健(小児保健・精神保健・	前				
	体育原理	後	体育心理学	前	学校安全及び救急処置を含む)	前				
			生理学・運動生理学	前	中等教科教育法Ⅰ(体育)	前				
			コーチング論	前	中等教科教育法Ⅲ(保健)	前				
			健康管理論	前	トレーニング論	前				
			体育実技Ⅳ	後						
			体育実技Ⅴ	後						
			体育実技Ⅶ	後						
			運動学・運動方法学	後						
		体育経営管理学	後							
発 展 科 目					カウンセリング論	前			35	
関 連 科 目	生涯スポーツⅠ	前	発育・発達論	前	健康運動実践指導Ⅰ	前	地域スポーツ指導Ⅰ	前	35	
	生涯スポーツⅡ	後	医学・スポーツ医学	前	解剖学・機能解剖学	後	地域スポーツ指導Ⅱ	後		
			健康づくりの理論と方法	後	栄養学・スポーツ栄養学	後				
			スポーツ指導法	後	心の健康と行動	後				
			生涯スポーツⅢ	前	運動プログラム管理	後				
					健康運動実践指導Ⅱ	後				
実 習 科 目	健康体験実習	前					健康実践演習	前	2	
研 究 科 目					教育学研究法Ⅰ	前	卒業研究Ⅰ	前	6	
					教育学研究法Ⅱ	後	卒業研究Ⅱ	後		
		42			37			36	12	127

スポーツ教育専攻 モデルⅠ（免許なし、公務員（警察官、消防士等））

		太字…必修科目		下線…専攻必修科目		…実習科目				
年次	1年	2年	3年	4年	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	
カリキュラム	科目名	科目名	科目名	科目名	時期	時期	時期	時期	時期	
基礎教育科目	思考力の養成	情報処理法 情報活用法 統計分析法		問題解決法 創造思考法	前1 後1					5
	表現力の養成	英語Ⅰ(基礎) 日本語Ⅰ(読解、分析) 日本語Ⅱ(作文、論文) 英語Ⅱ(応用) 日本語Ⅲ(発表、討論)			前1 前1 前1 後1 後1					5
	人間力の養成	自己管理と社会規範 地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	チームワークとリーダーシップ		前1 前1 後1	前1				4
	社会力の養成	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ	総合ゼミⅠ 総合ゼミⅡ	キャリアプランニング 社会的・職業的自立Ⅰ	前1 後1	前1 後1	前1 後1	社会的・職業的自立Ⅱ	後1	7
	人間の理解	健康と運動	歴史と文化		前2	後2		生命と倫理	後2	6
	社会の理解	社会と憲法	政治と行政 経済と政策		前2 前2	前2 前2				6
専門教育科目	基幹科目	人間形成論 心理学概論 教育学概論(中・高) 対人関係論 道徳教育論 教育心理学(幼・小・中・高) 特別支援教育論(幼・小・中・高) 教育行政学(幼・小・中・高) 教職概論(中・高)			前2 前2 前2 後2 後2 後2 後2 後2 後2					18
	展開科目	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅵ 体育原理	体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ 体育心理学 体育社会学 生理学・運動生理学 コーチング論 健康管理論 体育実技Ⅳ 体育実技Ⅴ 体育実技Ⅶ 運動学・運動方法学 体育経営管理学 健康教育論 バイオメカニクス	衛生学・公衆衛生学 学校保健(小児保健・精神保健・ 学校安全及び救急処置を含む) 中等教科教育法Ⅰ(体育) 中等教科教育法Ⅲ(保健) トレーニング論 運動部活動の指導法 体力測定評価法	前2 前1 前2 前2 前2 前2 前2 後2 後2 後1 後1 後1 後2 後2 後2 後2				41	
	発展科目		発達心理学	カウンセリング論	後2	前2	チーム学校論	後2		
	関連科目	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ	発育・発達論 医学・スポーツ医学 健康づくりの理論と方法 スポーツ指導法 臨床心理学	健康運動実践指導Ⅰ 解剖学・機能解剖学 栄養学・スポーツ栄養学 心の健康と行動 行動科学概論 社会心理学	前1 後1	前2 前2 後2 後2 後2	前2 後2 後2 後2 前2 後2	コミュニケーション心理学	後2	32
	実習科目									
	研究科目			教育学研究法Ⅰ 教育学研究法Ⅱ	前1 後1	前1 後1	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	前2 後2		6
			41	44	34		11			130